



はぎ

第164号

令和6年7月1日

発行者

社会福祉法人 日吉たには会
〒629-0311

京都府南丹市日吉町胡麻萩原15番地
TEL 0771-72-1500

題字：森 フミノ（老人保健施設はぎの里）



廣瀬会長の挨拶

中村理事長の挨拶



第一部 総会の様子



第二部 研修会の様子

6月23日（日）、南丹市日吉生涯学習センター「遊 you ひよし」にて、はぎの里後援会総会を開催しました。コロナ禍で開催出来ていない期間もあり、5年ぶりの開催となりました。

第一部の総会では、前年度の事業報告及び決算報告が行われ、今年度の事業計画と会計予算が承認されました。

第二部では、研修会として南丹市健康まちづくり課の保健師、人見敦子氏から、「健康づくりとフレイル予防」のご講義をいただき、健康でいきいきと暮らすための方法について学びました。

後援会の皆様には日頃から当法人の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝を申し上げます。頂いた備品は大切に使用させていただいております。

また、後援会総会でいただいた貴重なご意見は、今後の施設運営に活かし、ご利用者が安心して生活いただくよう尽力していきますので今後とも宜しくお願い致します。

～ 目次 ～

- P 1 「はぎの里後援会総会」
- P 2 「通所リハビリ食事会」
「介護福祉士合格者からひと言」
- P 3 「ケアハウスお楽しみ会」
「南丹市介護相談員」
- P 4 「ありがとうございました」
「利用状況」
「ひとりごと」

法人理念

社会福祉法人 日吉たには会
「利用者本位」「誠実」「貢献」

行動指針

- ①すべての人に、「まごころ」を持ち対応します
- ②ご利用者の思いを察し、喜びと安らぎを提供します
- ③福祉専門職として、良質なサービスを提供します
- ④笑顔あふれる、明るい未来に向けた事業を展開します
- ⑤地域福祉の中核となり、住みよい社会づくりに貢献します

美味しいお弁当で繋がる心

通所リハビリテーションで食と語らいのひととき

去る5月28日、昼食に大向営農組合様にお弁当をお世話になり、食事会を開催しました。みんなでゆっくりお話ししながら、おいしいお弁当を召し上がっていただき、楽しいひとときを過ごしました。

おやつには、今回はホイップクリームを添えたパンケーキを準備しました。職員一同、今年も通所リハビリを通じて皆様に楽しんでいただけるよう取り組みます。



未来の介護福祉士の皆さまへ

～ 合格者からのメッセージ 2024 ～

今年、はぎの里で介護福祉士の試験に合格された職員から試験に向けて努力したことや今後の抱負など、メッセージをいただいたのでご紹介させていただきます。

9e.....9e

日々の業務や家庭の責任を果たしながらの勉強は非常に厳しかったため、進捗が遅く、成果もなかなか出せませんでした。しかし、今年をラストチャンスと位置付け、改めて試験に臨みました。

老健にいた頃、月一回の研修や委員会での資料集め、発表への参加ができたこと、また特養オアシスで新しい挑戦をさせてもらえた経験は、試験合格の大きな要因となりました。これらの機会を通じて、業務をこなしながらも学びを深めることができたので、職員の皆さんにも感謝しています。

今後は介護福祉士としての資格を生かし、即戦力として貢献できるように努力を重ねます。また、さらなる専門知識を身につけるため、新しい資格取得を目指して経験を積んでいきたいです。

(特別養護老人ホームはぎの里オアシス 村田 郁子さん)

ケアハウスお楽しみ会

～日吉ゆう薬局による熱中症予防の話～



5/29・31 に日吉ゆう薬局薬剤師による熱中症予防対策のお話をして頂きました。
○×クイズ形式に問題を出して下さったりして利用者さんもお互いに「これは○やろ。」
「×違うかな。」と言いながら考えてわいわいと笑顔もみられて楽しい時間を過ごされて
いました。



南丹市介護相談員について、特養はぎの里、老健はぎの里、はぎの里オアシスで受け入れを再開しました。

介護相談員派遣事業とは、市町村に登録された介護相談員が、介護サービス事業所に出向いて、利用者の声を聴くことにより、介護サービスの質の向上等に繋げる取り組みです。

今回は施設に来られた介護相談員さんの思いを聞かせていただいたのでご紹介します。



心に寄り添う、介護相談員派遣事業

利用者様への声掛けは、はっきりとした大きな挨拶から始めています。まず、自分の名前と目的を、利用者様の目を見て伝えるよう心掛けていますが、時には名札を手渡しして確認していただくこともあります。マスクやフェイスガードが声の聞き取りを難しくさせるため、つい大声になってしまうこともあります。しかし、ゆっくりとはっきり伝えることで、利用者様からの返答をいただくと、とても嬉しく感じます。

会話は日常の些細なことからはじめますが、利用者様の人生の話や心の内をゆっくりと聞かせていただくことが多いです。時には涙を共にし、時には笑い合い、感謝の言葉を交わすこともあります。どれだけ心に寄り添えているかは分かりませんが、「またお話ししましょうね」「来てくださってありがとうございます」と言い合える時間は、相談員としての役割を果たせていると感じます。

常に話をする状況があるわけではありませんが、利用者様の顔を見ることができるのは何よりも嬉しいです。職員の皆様も温かい声掛けをありがとうございます。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

☆ありがとうございました 4月11日から6月10日まで（順不同・敬称略）

松本 司 波多野 錦綴織工房 モリモト美容室 シスター美容室 美容室HANA サロン・ド・あみ
 ヘアークラフトカツダ カットサロンうえはら 小林義博 園部町民生児童委員協議会女性部
 その他、お世話になりました皆様、ご利用者・ご利用者家族の皆様、誠にありがとうございました。

利用状況

特別養護老人ホームはぎの里 1 介護老人福祉施設（長期入所）

定員50名	4月	5月
月末入所者数	49	47
月平均入所者数	48.5	47.7

2 短期入所生活介護（ショートステイ）

定員10名	4月	5月
延利用者数	57	53
1日平均利用者数	9.0	7.6

3 地域密着型通所介護（デイサービス）

定員18名		日曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	計
4月	延利用者	72	90	89	71	71	72	465
	1日平均	18.0	18.0	17.8	17.8	17.8	18.0	17.9
5月	延利用者	72	72	72	90	90	90	486
	1日平均	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
合計	延利用者	144	162	161	161	161	162	951
	1日平均	18.0	18.0	17.9	17.9	17.9	18.0	18.0

老人保健施設はぎの里

1 介護老人保健施設（長期入所）

定員100名	4月	5月
月末入所者数	86	83
月平均入所者数	84.5	83.3

2 短期入所療養介護（ショートステイ）

長期空室利用	4月	5月
延利用者数	6	5
1日平均利用者数	1.2	1.1

3 通所リハビリテーション（デイケア）

定員30名		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	計
4月	延利用者	130	119	87	80	97	91	604
	1日平均	26.0	23.8	21.8	20.0	24.3	22.8	23.2
5月	延利用者	97	103	129	98	130	99	656
	1日平均	24.3	25.8	25.8	19.6	26.0	24.8	24.3
合計	延利用者	227	222	216	178	227	190	1,260
	1日平均	25.2	24.8	23.8	19.8	25.2	23.8	23.8

第一ケアハウスはぎの里

定員25名	4月	5月
月初入居者数	21	21

第二ケアハウスはぎの里

定員32名	4月	5月
月初入居者数	27	26

訪問リハビリテーション事業所

	4月	5月
利用実人員	7	6
訪問延回数	58	46

はぎの里ケアプランセンター

	4月	5月
居宅介護計画作成件数	73	74
介護予防計画作成件数	26	28
介護予防ケアマネジメントA	6	6



はぎの里訪問介護事業所

	4月	5月
利用実人員	21	21
訪問延回数	142	161
身体介護	32	29
身体・生活	12	16
生活援助	68	81
総合事業	30	35

はぎの里オアシス

1 地域密着型介護老人福祉施設

定員20名	4月	5月
月末入所者数	19	20
月平均入所者数	19.1	19.5

2 認知症対応型共同生活介護

定員18名	4月	5月
月末入所者数	17	15
月平均入所者数	15.5	16.5

3 小規模多機能型居宅介護

定員18名	4月	5月
利用実人員	6	6
利用延回数	97	114
通い	50	62
訪問	39	42
泊まり	8	10



はぎの里では職員を募集しております！

当法人では、介護未経験者であっても安心して働いていただけるように研修制度が充実しており、また、職員の健康管理、休暇制度、育児・介護の両立、出産後復帰などの取り組みを実施しています。施設見学についても随時対応させていただきますので、介護・看護職での仕事をお探しの方は、お気軽にお問い合わせください。

きょうと福祉人材育成
認証制度



ひとりごと

紫陽花が美しく咲き誇る梅雨の季節、私の庭は雨に濡れるたびにその色鮮やかさを増していきます。雨粒が花びらに輝く姿は、まるで自然が散りばめた宝石のようです。園芸を始めてから、植物の成長がもたらす穏やかな喜びを知り、日々の忙しさを忘れさせてくれます。植物たちが時間をかけて開花するように、私たちの心もまた、じっくりと育てることの大切さを思い出させてくれるのです。これから夏を迎え、新たな季節の変わり目に、何か新しい趣味に挑戦してみるのも、心の成長につながるかもしれません。